

平成 24 年度 埼玉県経営品質協議会通常総会 を開催



さいたま商工会議所会館 2 階ホールにて

5 月 21 日 (月) さいたま商工会議所会館 2 階ホールにて本年度の通常総会が開催されました。総会では昨年度の事業と収支決算、会計監査結果が報告され、今年度の事業計画案と収支予算案が議案通りに了承

されました。併せて、経営品質協議会役員・判定委員変更についても確認されました。

本年度は、「①経営品質向上プログラムに対する経営トップの理解を高めていく事業」として経営品質をリードする会社トップが情報交換する活動を、「②企業を革新していくための経営幹部、推進者を育成する事業」として各種講座やワークショップを開催し、「③企業の革新活動を支援していく事業」として経営品質推進アドバイザーの紹介・派遣を、「④埼玉県経営品質賞の運営」として申請企業のサポートと審査の運営を中心に活動していきます。

また、長年に渡り埼玉県経営品質協議会にご尽力いただいた 4 名の方々に協議会より感謝状が贈呈されました。

(順不同)

矢内 俊二 氏

贈呈理由:平成19年より2期4年にわたり、運営委員長として経営品質協議会運営にご尽力いただき、当協議会の発展に大きく寄与されました。

山崎 吉之助 氏

贈呈理由:賞申請事業の立ち上げ・運営に尽くされ、さらに平成21年より1期2年にわたり、運営副委員長を務められ、当協議会の発展に大きく寄与されました。

堀 治人 氏

贈呈理由:平成15年の経営品質協議会設立時に多大なるご尽力をいただき、設立後も運営委員・セミナー等での講師・コーディネーターとして、経営品質の普及に大きな貢献をされました。

萩原 道雄 氏

贈呈理由:経営品質協議会設立時から運営委員としてご活躍いただき、平成17年より1期2年にわたり、運営副委員長も務められ、当協議会の発展に大きく寄与されました。

CONTENTS

- 平成 24 年度通常総会を開催
- 埼玉県経営品質協議会受賞企業報告会を開催
- SQA 通信
直近のイベント案内

2012年度 埼玉県経営品質協議会受賞企業報告会 を開催



パネルディスカッションで意見交換

5月21日（月）さいたま商工会議所会館2階ホールで受賞企業報告会が開催されました。今年は、株式会社ハーヴィインターナショナル様が奨励賞を受賞され、同社代表取締役/切山英彦氏より経営品質への取組みについて報告していただきました。パネルディスカッションでは寺沢俊哉氏をコーディネーターに迎え、切山社長、販売部/佐藤氏、商品開発部/古来氏からそれぞれの視線で経営品質取組みの実態について、話を聞くことが出来ました。

審査総括（埼玉県経営品質協議会判定委員 寺沢俊哉氏）

埼玉県経営品質協議会は、毎年、素晴らしい埼玉県の中小企業を表彰し、そのノウハウを分かち合う活動を続けています。応募された企業に対して、昨年末から年始にかけて日本経営品質賞の審査プロセスに従い適切に審査されました。

えて欲しいと思います。

私たちが目指すところは、下記4ポイントです。

1. 顧客本位：顧客を正確に捉え、顧客本位で経営されているか？これは顧客の言いなりになるということではありません。
2. 独自能力：顧客のためになくはない存在（オンリー・ワン）かどうか？限られた経営資源の中で企業の独自性をどこに発揮して生き残るかは大切なテーマです。
3. 社員重視：実現するのは社員である。職場を如何に活性化させて、社員満足を得るか？
4. 社会との調和：社会へ貢献できているか？

この4つを基本理念として埼玉県経営品質協議会は表彰活動をしています。

（株）ハーヴィインターナショナルが受賞した奨励賞とは、日本経営品質アセスメント基準書で定義される評点総括のBランクに相当します。Cランクが普通レベル、Bランクは素晴らしいレベルです。受賞企業の報告から、自分たちの会社には何がどう活かせるかを考



寺沢俊哉氏

※評点総括Bランクの内容（基準書より抜粋）
<過去の枠組みに基づく改善から、革新へ向かい始めている>

組織目的とそれを実現する理想的な姿を明確にした上で、現状とのギャップを認識し改善に結び付けている。組織内での対話が重視され始めており、組織目的の実現に向けた部門や活動間での協力関係も醸成され始めている。それにより、活動結果、総合結果共に、改善傾向が見られ始めている。

報告：「シーズニングで強靱で自立型オンリーワン企業を目指す！」

(株)ハーヴィインターナショナル 代表取締役 切山英彦 氏



(株)ハーヴィインターナショナル
代表取締役 切山英彦 氏

1984年、外資系会社を退職と同時に起業し、工場を持たないメーカーとしてスタートしました。経営品質は2002年頃に知り、埼玉経営品質研究会に参画し始めたものの判らないことが多く、日々勉強の連続でした。そして、社員と一丸となって取組んだ結果、埼玉県経営品質協議会奨励賞を受賞するところまで到達しました。講演タイトル「シーズニングで強靱で自立型オンリーワン企業を目指す！」は、中期3ヵ年計画のテーマでもあります。

■事業内容

○配合香辛調味料(シーズニング)、香辛料、ハーブ、乾燥野菜等製造販売

■組織の目指す「理想の姿」

(組織全体で共有する価値観と未来像)

目指す会社

『株式会社ハーヴィインターナショナルと利害を共有する人、会社、社会に対する責任を継続的に果たし、会社の規模の大小ではなく、食品業界は勿論、社会的に存在価値のある、そして社員一人一人が幸せで、働きがい、やりがい、生きがいがあり、誇りと希望(期待)のもてる会社』

後半の「社会的に存在価値のある、そして社員一人一人が幸せで、働きがい、やりがい、生きがいがあり、誇りと希望(期待)のもてる会社」を最終目標と考えています。

■経営理念

目指す会社を担保するのが経営理念と考えます。

1. 食べ物本質を見すえて独自の味を創造し、味をもって健康で豊かな食文化の向上に貢献します。
2. 正直、素直、公正な経営に徹し、誇りと働き甲斐のある高次元経営をめざします。
3. 味のトレンドを先取りし、顧客の固有ニーズに応える商品開発に全力を尽くします。
4. 自発的こだわりの精神で専門分野を深めて組織に貢献し、働くことを通して豊かな人間性を開発します。

4つのうち、1と4を特に重視する考えとしています。食べ物は人として豊かに生きていくための底辺であり、その本質を見すえることが大切であり、社員一人ひとりが自発的に専門分野を深めて組織に貢献し、豊かな人間となることを特に重視しています。

これら理想の姿と経営理念から中期3ヵ年計画を立案し、基本方針と数値目標を掲げ1年毎の事業計画を組み、各部門の目標に展開しています。

■オンリーワン企業を目指す5つの革新マインド

1. 依頼処理型 ⇒
革新マインド=提案する会社(自立型)になる。
2. 我々の顧客は直接顧客の加工食品メーカー ⇒
革新マインド=我々の真の顧客は一般消費者である。
革新マインド=直接顧客はビジネスパートナーである。
3. 我々は直接顧客の「One of themの仕入先(供給者)」 ⇒
革新マインド=我々は直接顧客の味づくりパートナーである。
4. 我々は直接顧客の便利屋 ⇒
革新マインド=我々は食味づくりのメーカーである。
5. 研究・開発の視点は直接顧客の要望 ⇒
革新マインド=研究、開発の視点は食品市場であり一般消費者である。

■顧客認識

- 真の顧客は一般消費者
- 直接顧客（加工食品メーカー）はビジネスパートナー
- アンテナショップ「Harvey's」の開設
- サービスの提供やイベント、アンケート等からニーズ把握
- 直接顧客に対する提案力の強化、商品企画への活用
- 自社商品化率を高め、真の顧客ニーズに迫る
- 顧客満足度を高め、真の顧客向けのシーズニングが、どの様な食シーンでどの様に食されているかといった情報を収集・分析し、その結果を直接顧客に対し更に深みある提案を行っていく。

■経営資源認識（強み）

- 食品他業種に対応する味覚アドバイザー（味の創造）
- 製品の形態 乾燥粉末が主体
- 1万6千以上の基本配合レシピ
- 埼玉工場（神川町）・児玉工場（本庄市）の2工場
- 『顧客、市場ニーズに応える価値創造の為にそれぞれの業務領域を持つ4つの部門（商品開発部、生産部、販売部、管理部）が対等且つ有機的、横断的に関係しあう営業体』
- 他部署満足の仕事（全部門を横断的に相互の要望・期待に対する年度目標設定）

■競争認識（ビジネス環境の認識）

- 少子高齢化社会での国内市場の縮小、消費者構造変化、味覚における国際化（ボーダレス化）、市場原理に偏った流通に起因する様々な問題、商品の短命化（ファッション化）、食の安全・安心・信頼関係、日本の食糧自給問題など
- 真の顧客に期待されるための重要事項（他社との差別化）
 - A 安全・安心・信頼の製造体制と安定した高品質の製品提供
 - B 顧客の要求、要望にスピーディな行動で応える
 - C 変化を察知し、信用・信頼される優れた提案力
 - D 顧客との密接な人間関係の構築と情報の収集・交換

■変革意識

- 経営トップの経営革新に向かう真剣な取組みと社員の意識変化（唱和カード「めざす会社」・新中期3ヵ年経営基本方針・部門スローガン・ISO9001部門品質目標）
毎週月曜朝礼時
（社長を囲んだ食事会や、中堅社員を中心とした検討会開催）
- 直接顧客・真の顧客（一般消費者）のニーズを把握し、商品企画に結びつける取組み（提案型経営の増加）（経営革新ハーヴィーズプロジェクト・中小企業経営革新計画承認）
- 食品メーカーとして優れた製品を提供するための品質管理プロセスの確立（食添GMP・ISO9001）

■経営品質に取組んだ経緯

- 2002年
 - ・「埼玉経営品質研究会」への参加
 - ・セルフアセッサー講習会へ参加
 - ・埼玉中小企業家同友会メンバーと埼玉県経営品質協議会発足メンバーとの交流
- 2006年3月
2005年度埼玉県経営品質協議会推進賞受賞

経営品質について最初は難しいもので理解が進みませんでした。取組みで得た「顧客本位」の概念は最大の収穫でした。本当の顧客は誰なのかを考えると経営課題が明確になり、経営革新マインドが醸成されました。

■経営品質に取組んでみて

- 取組み当初の最大の収穫（気づき）は、「顧客本位」顧客認識の深堀りと市場認識であった。
- 「顧客本位」の概念で、経営課題が明確に整理され、経営革新マインドが出てきた。

■経営品質を活用することで得られた効果

- 共有の意識の変わった社員が増えた（共有環境ができつつある）。
- 重要成功要因を考え意識し、理想とする組織を目指し始めた。

社長と同じ土俵で話ができるようになったことが経営品質活用による大きな効果です。

■今後の経営品質活動への取組み

経営指針づくりに経営品質向上プログラムを最大限活用して経営革新を進めます。

- 顧客本位
- 社員重視

それぞれの満足度調査内容の再構築を含めレベルアップさせていきます。

プロジェクトチーム+αで各アセスメント項目に対して向上させていきます。

■フィードバックレポートでも評価された強み

- 経営トップの経営革新に向かう真剣な取組みと社員の意識変化
- 直接顧客・一般消費者のニーズを把握し、商品企画に結びつける取組み
- 食品メーカーとして優れた製品を提供するための品質管理プロセスの確立

■改善に向けての提言

- 戦略に合致した新市場の探索強化
- 戦略の策定と展開における社員参画の在り方の見直し
- 理念現実に向けた人材開発の取組みの検証
- 収集している情報の分析・活用の有効化

■これからの活動

現在は国内企業が直接顧客ですが、これからは一般家庭でシーズニングが使用され食事が楽しく豊かになることを考えています。更には、海外に向けた展開（台湾）を考えており、数値目標を掲げて今年から活動しています。

☆☆☆ 参加者の感想（アンケート回答より抜粋） ☆☆☆

- ・ 経営品質との出逢いでの気づきが、経営革新に繋がり、顧客本位と社員重視の経営が明確になっていることが大変参考になりました。
- ・ 経営品質をしっかりと行うことにより、社員一人ひとりの意識が変わるという点が印象的でした。
- ・ 顧客本位の追求により、顧客ニーズを把握し、独自性を出していることが参考になりました。
- ・ 社長の想いが伝わってきました。
- ・ 具体的な取組姿勢がよく理解でき、大変興味深く感じました。
- ・ 経営品質賞に取組むきっかけや理由、取組んだメリットを具体的に発表して下さり、参考になりました。
- ・ 「顧客認識の変革」が大変参考になりました。

【お知らせ】

2012年度版埼玉県経営品質賞申請ガイドブックをお送りしています！

賞申請の概要、スケジュールなどが掲載されている「申請ガイドブック」の2012年度版ができました。「経営品質賞」、「推進賞」の申請をご検討されている方は、熟読くださいますようお願いいたします。

また会員みなさまには一冊発送しておりますが、追加発送をご希望の方は、事務局までお問い合わせください。残部がある場合は発送をさせていただきます。

【SQA 事業のご案内】

■いい会社を手っ取り早く学びたい方へ

「ベンチマーク視察研修」

9月27日（木） 埼玉県内の会社を視察予定

※昨年は「(有)とうふ工房わたなべ」様、「武州ガス(株)」様にお伺いしました。会員皆様には詳細は追って案内をさせていただきます。

■経営革新を推進する人材を真剣に育てたい方へ

人材育成プログラム

次の①～③の日本経営品質協議会の人材育成プログラムが、埼玉県でも受けられます！

※会員皆様には詳細は追って案内をさせていただきます。

① 働くひとすべてが「経営革新」の理解を深めるためのコース

経営革新の基礎コース

組織能力を変革するためにはどのように考え、話し合い、行動するかを目的に講義+話し合いで進行します。

10月23日（火） 10:00～17:30

大宮ソニックシティ内会議室

受講料：

会員1名 47,250円、一般1名 57,750円

② 経営知識を体系的に身につけ、自身の会社の経営課題への対応を考える

経営評価の基礎コース

経営知識を体系的に身につけ、ご自身の組織の経営課題を考える力を身につけたい方を対象に、専用テキストで学ぶと共に、ご自身の組織やケースをもとに、経営課題について深く考えます。

11月27日（火）、12月12日（水）

2013年1月10日（木）

大宮ソニックシティ内会議室

受講料：

会員1名 136,500円、一般1名 168,000円

③ 経営革新を推進するためのセルフアセスメントの考え方や知識を身につける

セルフアセスメントコース

アセスメント基準に基づき、論理的思考と対話を用いて進めるアセスメントを実施するために必要となる知識とスキルを身につけます。

2013年2月27日（水）、2月28日（木）、

3月1日（金）

大宮ソニックシティ内会議室

受講料：

会員1名 136,500円、一般1名 168,000円

※革新の基礎コース、評価の基礎コースを受講後、チェックテストに合格している必要があります。

編集後記

先日、奨励賞を受賞されたハーヴィインターナショナル様のアンテナショップ”Harvey's”（所沢市）に家族を連れてお伺いしました。平日のお昼時で女性のお客様でお店は賑やか、辛うじて窓側の席を見つけました。明るい店内で平日の午後を快適に過ごせそうな雰囲気、お料理も美味しかったです。香辛料を“効かせる”ことで味が際立つイメージをもっていましたが、程よく押さえることで素材を活かし、いろいろな風味を感じました。美味しい料理は、リッチな気分にしてくれますね。良い家族サービスができました。

（運営委員会/編集子）